

私も納税者の一人

行田市立埼玉中学校

二年 長沢 ひなた

今年の七月に参議院選挙がありました。テレビで各党の党首が政策について語っていました。ある党は、消費税の増税を保留に言うと言っています。そこで私はふと考えました。もし税金が無かったら、私達の暮らしはどうなっているでしょうか？

もし税金が無かったら、ゴミを回収して焼却する仕組みが無いため、街中にゴミがあふれる。公立の学校が無いため、子供達は平等に教育が受けられない。健康保険の制度が無いため、高額な医療費が払えず、病院にも行けない。急病や大ケガでも救急搬送してもらえない。警察が無いため治安が悪くなり、犯罪も増える。ざっと周りを見回すだけでも普段税金にどれだけお世話になっているかが分かります。

私の身近な所でも、税金が使われた具体的な例があります。小学四年生の時に学校にエアコンが設置され、夏でも快適に授業を受けられる様になりました。トイレもきれいになり、水道は自動水栓になりました。汚れた水栓に触らなくて済むので、とても衛生的です。二年前には、いつも車一台分しか通れなかったギリギリの通学路が拡張されました。これで車と接触する心配は少なくなりました。

そして私が現在通院している県立小児医療センターでは、最

新の設備に驚きました。受付の時にレシーバーを受け取り、操作すると、レシーバーがどこへ行けば良いのか文字で指示をしてくれます。診察の大まかな順番がわかる上、順番が近くなると音で知らせてくれます。おかげで診察待ちの間、ずっと待合室にいらなくても済みます。

私達の便利で快適な暮らしは、税金の下で成り立っている事が良く分かります。税金と聞くと、大人だけが関わっている気がしますが、中学生の私でも日常的に関わっているものがあります。それは消費税です。

私がコンビニやスーパーなどで買うお茶やお菓子、文房具店で買う消しゴムやノート等にも税金はかかっています。少しづつではありますが、私達子供も立派な納税者と言えると思います。

今年の十月から、消費税が八パーセントから十パーセントに上がります。百円の物を買ったら十円、千円の物を買ったら百円の税金がかかります。中学生の私にとっては、決して少ない金額ではありません。それでも、世の中の仕組みに役立っていると思うと、少し誇らしくも思います。

そして学校で、税金の使い道は選挙によって選ばれた代表者によって、国会や県議会、市町村議会で話し合われて決定される事を知りました。私は十八歳になったら、必ず投票に行こうと思います。自分達の代表者をきちんと選ぶ事も、税金の使い方を考える上でとても大切な事だと思っております。